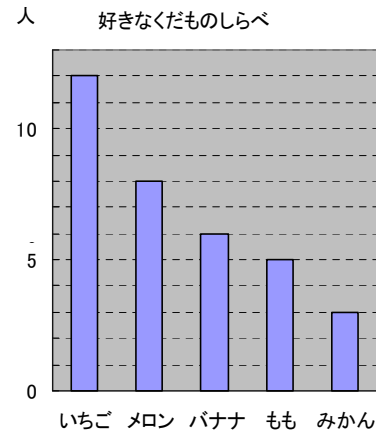


小学校第3学年 単元別確認テスト15

単元名：〔表とグラフ（啓林館）〕〔ぼうグラフと表（東京書籍）〕	①～③ ( / 3) 技能	④～⑦ ( / 4) 考え方	得点 ( / 7)
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )			

○ まゆみさんのクラスで、一番好きなくだものを調べました。

- ① ぼうグラフに表すと右のようになりました。  
いちごが好きな人と、みかんが好きな人の数の差は、  
何人でしょう。

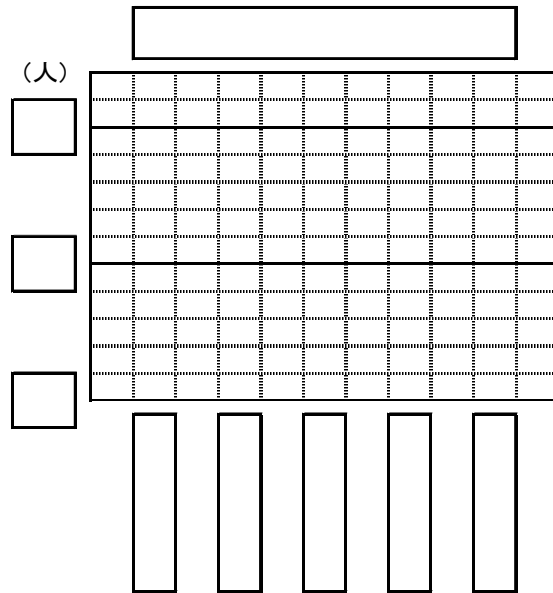


- ② まゆみさんのクラスの人数は何人でしょう。

○ 下の表は、まことさんのクラスで、好きなきゅう食を一人1つずつえらんで、まとめたものです。  
次の問いに答えましょう。

好きなきゅう食

しゅるい	人数(人)
カレーライス	12
ラーメン	10
ピラフ	7
スパゲッティ	4
そのた	3



- ③ 上の表をもとに、ぼうグラフを  
右にかきましょう。

〔①～③技能〕

- ④ カレーライスが好きな人の数とラーメンが好きな人の数をあわせると、まことさんのクラスの人数の  
半分より多いですか、少ないですか。あてはまる方に、○をつけましょう。また、そう考えたわけもか  
きましょう。

多い	[わけ]
少ない	

○ 下の表は、9月、10月、11月の、たけしさんの学校の3年生がけがをした人数とけがのしゅるいを  
調べてまとめたものです。次の問いに答えましょう。

けが調べ (9月～11月)

しゅるい \ 月	9月(人)	10月(人)	11月(人)	合計(人)
すりきず	12	15	9	36
うちみ	ア	11	13	34
ねんざ	3	1	2	6
そのた	6	7	5	18
合計	31	34	29	イ

- ⑤ 9月から11月までの間で、どのけがをし  
た人が一番多かったでしょう。

- ⑥ ア にはいる数をもとめる式を、2つかきましょう。

式
式

- ⑦ イ にはいる数は、何を表しているでしょう。ことばでかきましょう。

〔④～⑦考え方〕

小学校第3学年 単元別確認テスト15 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[15 表とグラフ(啓林館下P64~P73)] [18 ぼうグラフと表(東京書籍下P94~P105)]							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(3) 資料を分類整理し, 表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。 ア 棒グラフの読み方やかき方について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	棒グラフを正しく読み取ることができる。	9人		○			○		90%
②	棒グラフから, 調べた人数(各果物を好きな人数の合計)を読み取ることができる。	34人		○			○		90%
③	表題をかき, 縦じくには人数の目盛りを取り, 横じくには種類をかき, 各種類の人数にあわせて棒グラフをかくことができる。	省略		○				○	80%
④	表や棒グラフをもとに, 問題文の内容の正誤について判断し, 判断理由も説明することができる。	多い カレーライスとラーメンを選んだ人の数は22人 クラスの人数は36人なので, 半分の18人より 多くなる。	○					○	75%
⑤	二次元の表から, 尋ねられている項目を読み取り, 答えを考えることができる。	すりきず	○				○		80%
⑥	二次元の表の項目の意味を読み取り, 9月にけがをした人の合計数や, うちみをした人の合計数から, 答えを求める式を考えることができる。	31 - (12 + 3 + 6) 34 - (11 + 13) ※ ( ) を使っていない式でもよい。	○					○	75%
⑦	二次元の表から, 尋ねられている項目の意味を読み取り, 答えを考えることができる。	(たけしさんの学校で) 9月から11月の間にけがをした3年生の合計人数	○					○	75%
合 計 7 問			4	3	0	1	3	3	81%

小学校第3学年 単元別確認テスト16

単元名 [小数 (啓林館)] [小数 (東京書籍)]
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

①~③	④~⑥	⑦~⑩	得点
( / 3)	( / 3)	( / 4)	( / 10)
知識・理解	技能	考え方	

- ( ) にあてはまる数をかきましょう。
- ① 2.6は、1を ( ) こ、0.1を ( ) こあわせた数です。
- ② 0.1を15こ集めた数は、 ( ) です。
- ③ 2.8は、3より ( ) 小さい数です。

[①~③ 知識・理解]

○ 次の計算をしましょう。

- ④  $10.5 + 2.9$
- ⑤  $7 + 0.4$
- ⑥  $6.8 - 4.8$

[④~⑥ 技能]

○ 次の問いに答えましょう。

- ⑦ (ア)27mmと(イ)3.2cmでは、どちらが長いでしょう。長い方の記号をかきましょう。
- 

- 次の問いに答えましょう。
  - ⑧ 水そうに水が47 d L入っています。3.6Lの水を入れると、全部で何Lになるでしょう。
- 式

答え

- ⑨ たかしさんが生まれたときの体重は3400gでした。今の体重は24.2 kgです。体重は何kgふえたでしょう。
- 式

答え

- ⑩ よしおさんは、 $7.2 + 3$ をまちがって計算しました。そのまちがいをひっ算を使って、正しく直しましょう。

[よしおさんの計算]

$$\begin{array}{r}
 7.2 \\
 + \quad 3 \\
 \hline
 7.5
 \end{array}$$

[⑦~⑩ 考え方]

小学校第3学年 単元別確認テスト16 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		[16 小数(啓林館下P74~P83)] [11 小数(東京書籍下P2~P19)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(5)小数の意味や表し方について理解できるようにする。 ア 端数部分の大きさを表すのに小数を用いること。また、小数の表し方及び1/10の位について知ること。 イ 1/10の位までの小数の加法及び減法の計算の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	小数の構成的な見方を理解している。	2 6			○		○		90%
②	小数の相対的な見方を理解している。	1.5			○		○		85%
③	小数の大きさについて理解している。	0.2			○		○		75%
④	小数の加法で繰り上がりのある計算ができる。	13.4		○			○		90%
⑤	整数と小数の加法で位をそろえて計算することができる。	7.4		○			○		90%
⑥	小数の減法で答えが整数になる計算で、答えの小数第1位の0を消すことができる。	2		○			○		85%
⑦	単位の異なる長さの比較をする際に、単位を換算してそろえることを考えることができる。	(イ)	○				○		80%
⑧	単位の異なるかさの加法において、単位をそろえて答えを考えることができる。	(47dL=4.7Lだから) 4.7+3.6=8.3 8.3L	○				○		80%
⑨	単位の異なるかさの減法において、単位をそろえて答えを考えることができる。	3400g=3.4kgだから 24.2-3.4=20.8 20.8kg	○				○		70%
⑩	小数の加法について計算の仕方の間違いに気づき、正しい計算の仕方を考えることができる。	[ひっ算] 7.2 + 3 ----- 10.2	○					○	70%
合計 10 問			4	3	3	1	8	1	82%

小学校第3学年 単元別確認テスト17

単元名 [計算のきまり 2けたをかけるかけ算の筆算 (啓林館)] [かけ算の筆算 (2) (東京書籍)]
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

○ 次の□にあてはまる数を                      からえらんで、かきましょう。

①  $46 \times 53$  の答えは、 $46 \times \square$  の答えと  $46 \times \square$  の答えを  
合わせた数です。

3
5
30
50
53

【①知識・理解】

○ 次の計算をしましょう。

② 
$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 56 \\ \hline \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 63 \\ \times 80 \\ \hline \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 283 \\ \times 39 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 402 \\ \times 60 \\ \hline \end{array}$$

【②～⑤技能】

① ( / 1) 知識・理解	②～⑤ ( / 4) 技能	⑥～⑨ ( / 4) 考え方	得点 ( / 9)
----------------------	---------------------	----------------------	--------------

○ 次の問題に答えましょう。

⑥ とおるさんのクラスでは、文集を24さつつくります。文集を1さつつくるのに、127まいの用紙がひつようです。ぜんぶで、用紙は何まいひつようでしょう。  
式

答え

⑦ 1こ15円のおめを64こ買います。1000円出すと、おつりは何円になるでしょう。  
式

答え

⑧ よし子さんは、 $70 \times 32$  の筆算の計算を次のようにしました。しかし、計算がまちがっています。どこがまちがっているか、せつめいしましょう。

$$\begin{array}{r} 70 \\ \times 32 \\ \hline 140 \\ 21 \\ \hline 350 \end{array}$$

[せつめい]

⑨ 次の筆算の□に、あてはまる数をかきましょう。

$$\begin{array}{r} 9 \square \\ \times 55 \\ \hline \square \square 5 \\ \square 9 5 \\ \hline \square \square 4 5 \end{array}$$

【⑥～⑨考え方】

小学校第3学年 単元別確認テスト17 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[14 計算のきまり(啓林館下P62~P63) 17 2けたをかけるかけ算の筆算(啓林館下P86~P93)] [16 かけ算の筆算(2)(東京書籍下P68~P81)]								
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(3) 乗法についての理解を深め, その計算が確実にできるようにし, それを適切に用いる能力を伸ばす。 ア 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算の仕方を考え, それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また, その筆算の仕方について理解すること。 イ 乗法の計算が確実にでき, それを適切に用いること。								
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式		
①	(2位数) × (2位数) の計算の仕方を理解している。	50, 3 (順不同)			○	○			80%	
②	(2位数) × (2位数) で部分積2桁の場合の筆算が確実にできる。	784		○			○		90%	
③	(2位数) × (何十) の筆算が確実にできる。	5040		○			○		90%	
④	(3位数) × (2位数) で部分積が4桁の場合の筆算が確実にできる。	11037		○			○		90%	
⑤	(3位数) × (何十) の筆算が確実にできる。	24120		○			○		90%	
⑥	問題場面を読み取り, 立式して, 筆算をもとに答えを考えることができる。	$127 \times 24 = 3048$ 3048まい	○				○		80%	
⑦	問題場面を読み取り, 立式して, 筆算をもとに答えを考えることができる。	$15 \times 64 = 960$ $1000 - 960 = 40$ 40円	○				○		80%	
⑧	(2位数) × (2位数) の筆算において, どこに間違いがあるかに気付き, それを説明することができる。	70 × 30と考えると, 正しくは千の位から210とかく必要があるが, この場合, 百の位から21とかいてあるところがまちがいである。	○					○	70%	
⑨	(2位数) × (2位数) の筆算の仕方をもとに, 当てはまる数字を考えることができる。	9, 4, 9, 4, 5, 4	○				○		70%	
合 計			9 問	4	4	1	1	7	1	82%

小学校第3学年 単元別確認テスト **18**

単元名	〔□を使った式（啓林館）〕 〔□を使った式（東京書籍）〕	①② ( / 2) 知識・理解	③～⑥ ( / 4) 技 能	⑦～⑨ ( / 3) 考 え 方	得点 ( / 9)
3年 ( ) 組 ( ) 番	名前 ( )				

○ 次の問題に答えましょう。

① りんごを、400gのかごに入れて、重さをはかったら、900gありました。

りんごの重さを□gとして、全部の重さを表す式を、次の(ア)～(エ)の中から選んで記号で答えましょう。

- (ア)  $\square + 400 = 900$       (イ)  $\square - 400 = 900$   
 (ウ)  $\square \times 400 = 900$       (エ)  $\square \div 400 = 900$

② クッキーが36まいあります。家族みんなで食べたので、のこりが14まいになりました。

はじめにあった数	－	食べた数	＝	のこった数
----------	---	------	---	-------

上のことばの式をつかって、食べたクッキーの数を□まいとして式に表しましょう。

**【式】**

[①②知識・理解]

○ □にあてはまる数をみつけましょう。

③  $18 + \square = 24$

④  $\square - 18 = 5$

⑤  $\square \times 9 = 72$

⑥  $\square \div 3 = 7$

[③～⑥技能]

○ たかしさんのクラスでは、1人が4羽ずつおりづるをつくり、全部で84羽できました。このとき、次の問題に答えましょう。

⑦ 

1人分の数
-------

 , 

全部の数
------

 , 

人数
----

 をつかって、全部の数をもとめることばの式を作りましょう。

**【式】**

⑧ 上の式で、分からない数を□として式に表しましょう。

**【式】**

⑨ □にあてはまる数をかきましょう。また、□にあてはまる数のもとめ方をかきましょう。

(□にあてはまる数)	(もとめ方)
------------	--------

[⑦～⑨考え方]

小学校第3学年 単元別確認テスト18 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔18 □を使った式(啓林館下P98~P103)〕 〔15 □を使った式(東京書籍下P60~P66)〕							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(2) 数量の関係を表す式について理解し, 式を用いることができるようにする。 イ 数量を□などをを用いて表し, その関係を式に表したり, □などに数を当てはめて調べたりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	□を使った式の表し方を理解している。	(ア)			○	○		90%	
②	□を使った式の表し方を理解している。	$36 - \square = 14$			○		○	90%	
③	加法の式の□に当てはまる数を求めることができる。	6		○			○	90%	
④	減法の式の□に当てはまる数を求めることができる。	23		○			○	85%	
⑤	除法の式の□に当てはまる数を求めることができる。	8		○			○	90%	
⑥	除法の式の□に当てはまる数を求めることができる。	21		○			○	85%	
⑦	問題場面を読み取り, 条件に合った言葉の式を考えることができる。	1人分の数 × 人数 = 全部の数	○				○	80%	
⑧	問題場面を読み取り, □を使った式を考えることができる。	$4 \times \square = 84$	○				○	80%	
⑨	□に当てはまる数の調べ方を説明することができる。	(□にあてはまる数) 21 (求め方: 数を当てはめていく方法) □の中に, 20, 21と数を当てはめていくと, $4 \times 21 = 84$ となる。□にあてはまる数は21になる。 (求め方: 逆算で求める方法) $4 \times \square = 84$ $\square = 84 \div 4$ $\square = 21$ □にあてはまる数は21になる。	○				○	70%	
合 計 9 問			3	4	2	1	7	1	84%